

型番 AHN637132・AHN637136

お客様へ

器具の取付け際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

		警 告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。		下図のような場所や配線器具の場合、取付けできません。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。 配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。
	禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。		
	禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。		
	分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。		
	禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。		
	禁止	器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。		
	厳守	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。		

コイズミ照明器具 保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

- 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ランプ(LED電球含む)・クロード灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
- 24時間連続使用川など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - 構造、船体などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - 法令、取扱説明書で要求される保証点検を行わないことによる故障及び損傷
 - 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
 - 保証書は日本国内に限りのみ有効です。
 - 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 安定器・LED電源/モジュール:3年間

お買上年月日

お名前

ご住所

電話 ()

※This warranty is valid only in Japan.

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

△ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。		ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。
	この器具は防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。		器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。		表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
	周囲温度5~35°C、湿度45~85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。		

定格

型番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ
AHN637132・AHN637136	AC100V	50/60Hz 共用	82W	FHC 34+FHC 41 (LED保安灯付)

*リモコン送信機で消灯した場合、約1Wの電力を消費します。

*長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■取付前の確認 △警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

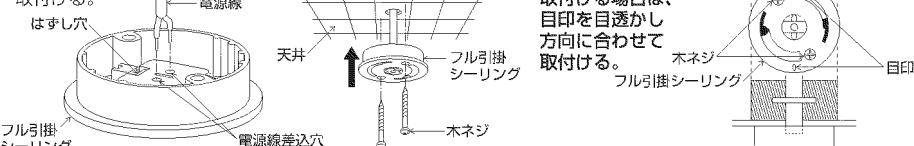
1 天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取付けられている配線器具が確実に固定されているか確認する。



2 配線器具がない場合

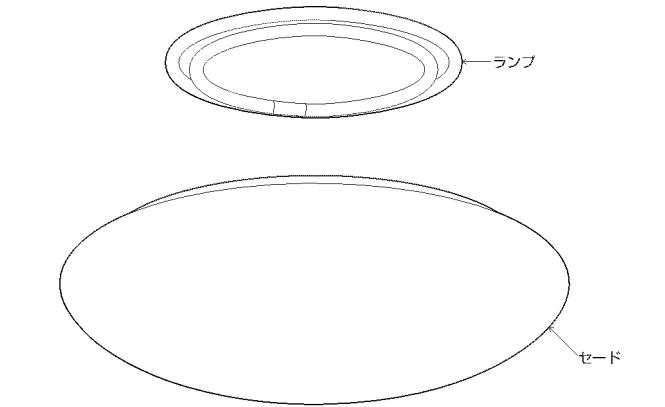
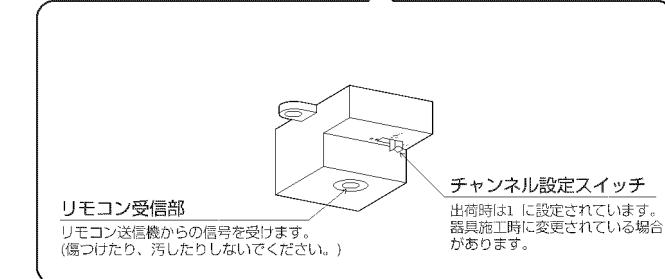
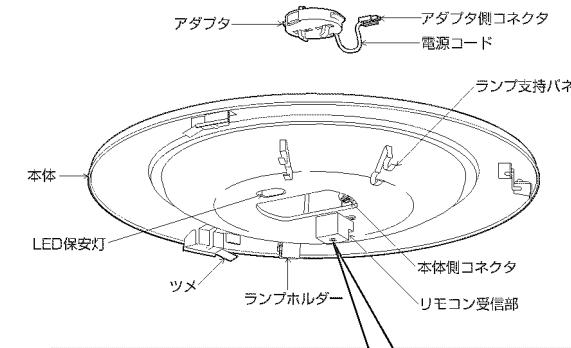
付属のフル引掛けシーリングを木ネジで天井に確実に取付ける。



*天井の材質や構造によって、天井面が変色する場合があります。

■取付手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

*この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



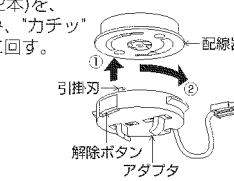
〈付属部品〉



フル引掛けシーリング···1個
木ネジ···2本

1 アダプタを配線器具に取付ける

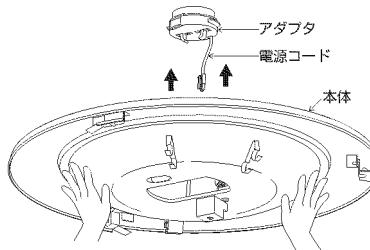
アダプタの引掛刃(2本)を、配線器具にはめ込み、“カチッ”と音がするまで右に回す。



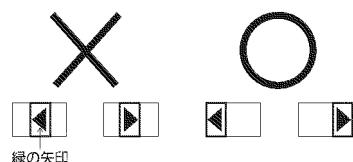
△警告 解除ボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認してください。アダプタの取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

2 本体を取付ける

- ①本体の穴に電源コードを通す。
- ②本体をアダプタに合わせて押し上げる。



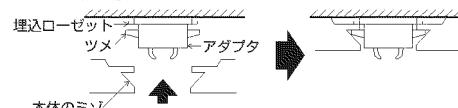
*本体の取付けは<埋込ローゼットの場合>、<その他の配線器具の場合>をご覧ください。
<その他の配線器具の場合>で2段階押し上がりにくい場合は、本体の中央付近を押して、確実に取付けてください。



△警告 緑の先端が両端にくるまで本体を押し上げてください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

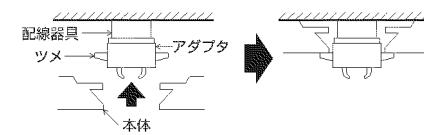
<埋込ローゼットの場合>

アダプタのツメに本体のミゾが引っ掛かるように1段階押し上げる。

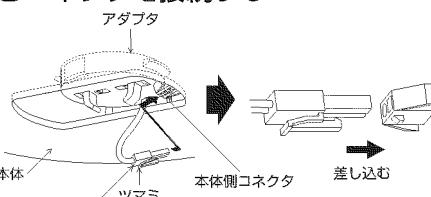


<その他の配線器具の場合>

アダプタのツメに本体が引っ掛かるように2段階押し上げる。
本体がガタつく場合は再度強く押し上げる。

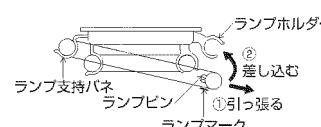


3 コネクタを接続する



4 ランプを取付ける

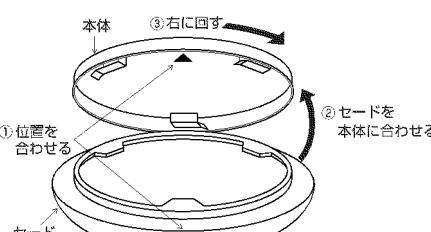
ランプマークを下側にしてランプ支持バネに取付け、ランプピンをランプホルダーに確実に差し込む。



*差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

5 セードを取付ける

セード外側と本体の矢印が合う位置でセードを持ち上げ、“カチッ”と音がするまで右に回す。



△警告 セードが確実に取付いたことを確認してください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

6 点灯の確認を行なう

■取外手順

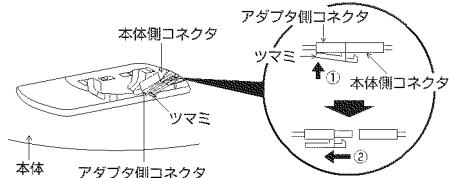
1 壁スイッチで電源を切る

2 セードを取り外す

セードを“カチッ”と音がするまで左に回して取外す。

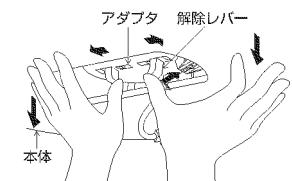
3 コネクタを取り外す

アダプタ側コネクタのツマミを押さえながら引き抜く。



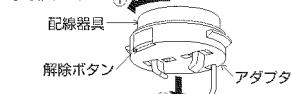
4 本体を取り外す

本体を支えながら、アダプタの解除レバーを外側にひろげ、本体を取り外す。



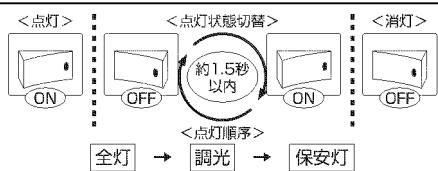
5 アダプタを取り外す

アダプタの解除ボタンを押しながら、左に回し、アダプタを取り外す。



■壁スイッチで操作する（プレス操作）

- 壁スイッチをONにすると点灯します。
 - ・壁スイッチをOFFにし、約1.5秒以内にONにすると点灯状態の切り替えができます。
 - ・壁スイッチをOFFにし、約3秒以上過ぎてからONにするとOFFにする前の状態で点灯します。



- 1つの壁スイッチで2台以上の器具をプレス操作することは避けてください。

- おでかけの際には壁スイッチをOFFにしてください。

- リモコン送信機で調光した場合、次回のプレス操作では、調節した明るさで点灯します。（蛍光ランプの明るさ30%以下で調節されていた場合は、30%で点灯します。）
点灯中に停電などで一定時間電源が切れた場合、直前の点灯状態になります。

※調光モードは、一旦全灯してから調光状態になります。

＜ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合＞

壁スイッチの使用は4個(5路配線)までとしてください。5個(6路配線)以上使用されますとプレス動作が正常にはたらかない場合があります。

壁スイッチを5個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

■リモコン送信機(別売)で操作する

※壁スイッチがある場合、壁スイッチをONにし、リモコン送信機を操作してください。

1 別売リモコンについて

AEE690124	●任意の時間に「ON」「OFF」タイマーの設定ができます。 ●「おまかせ防犯」機能の設定ができます。 ●蛍光灯・保安灯の明るさを変えることができます。
AEE690125	●「OFFタイマー」(30分・60分)の設定ができます。 ●蛍光灯・保安灯の明るさを変えることができます。
AEE690126	●蛍光灯・保安灯の明るさを変えることができます。 ●蛍光灯・保安灯をダイレクトに切替ができます。

※リモコン送信機の使い方はリモコン送信機に付属の取扱説明書をご覧ください。

2 リモコン受信部のチャンネルスイッチについて

当別売リモコン送信機対応照明器具は2チャンネルスイッチタイプです。

照明器具のリモコン受信部とリモコン送信機のチャンネルを同じチャンネル(I若しくはII)に設定してご使用ください。

※リモコン受信部とリモコン送信機のチャンネルが違っているとリモコン操作はできません。
(出荷時、照明器具及びリモコン送信機のチャンネルは「I」に設定しております。)

※万一、動作に異常が生じた場合、電源を一度切って再度入れ直してください。
(壁スイッチを一度切るか、壁スイッチがない場合は電源コネクタを一度はずし、取付け直してください。)

■LEDユニットについて

- ・明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- ・LEDのみの交換はできません。
- ・LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- ・LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。

■使用上のご注意

- ・照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。
数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- ・リモコン操作時に、リモコン受信部の向きにより作動しにくい場合がありますが故障ではありません。
器具の向きを変えてリモコン操作してください。
- ・器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- ・器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- ・停電などでプレス操作が働き、明るさが切替わる場合があります。その場合は、壁スイッチなどでお好みの点灯状態に設定しなおしてください。
- ・点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- ・多灯用器具は間引き点灯できません。

■故障ではありません

以下ののような症状は、ランプが寿命末期になり、器具の保護回路が働いたためで、故障ではありません。

点灯中に突然ランプが・・・

- ・消灯もしくは点滅する
- ・消灯して暗くなったり、保安灯が点灯する
- ・調光操作ができなくなったりする

いずれの場合も電源を入れ直すと再び点灯するが、しばらくすると同じ状態になる

電源を切ってランプを交換して電源を入れ直せば正常に点灯します。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

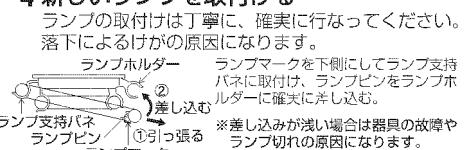
△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

△注意 ランプホルダー(ソケット)やランプ支持バネを強く弾かないでください。ランプの破損・けがの原因になります。

3 古くなったランプを取り外す

4 新しいランプを取り付ける



- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- ・蛍光ランプの両端が黒ずみだしたら交換時期です。
長い間使用していると知らないうちに暗くなってしまいます。定期的に交換しましょう。
- ・器具の汚れは乾いた柔らかい布で薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナー・ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。